

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-①	子育て支援を充実する	健康・こども部、教育総務部、社会教育部、市民病院					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度目標値	推計値による評価
		改訂計画策定時	2年度	3年度	4年度		
保育園の待機児童数	人	22	0	0	6	0	達成
放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0	0	0	0	達成

関連事業				
○民間保育所施設整備支援事業○特別保育拡充事業○ファミリーサポート事業○地域子育て支援推進事業○民間保育所助成事業○民間保育所保育士確保支援事業○吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業○発達支援コーディネーター育成事業○小児医療費助成事業○地域療育システム事業○子どもの未来支援事業○子ども及び子育て家庭に係る総合支援事業○母子保健事業○放課後児童健全育成事業○産科・小児科二次救急実施事業○放課後等子どもの居場所づくり推進事業○ブックスタート事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	2,983,771	2,085,513	2,784,692	
執行率（％）	83.80	92.25	89.04	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所等の整備や保育士確保のための支援を行うことで、令和3年、4年と2年連続で4月1日現在、待機児童はゼロを達成しました。また、一時預かりや病児・病後児保育など特別保育の実施、放課後児童クラブの増設を進め、受入児童数を拡充しました。</li> <li>・ 中学校卒業までの医療費助成（所得制限なし）や就学移行支援のための学校巡回相談、ブックスタート、不妊・不育治療費の助成、産後ケア事業や各種健診などを実施することで、妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない支援体制を整えました。</li> <li>・ 子どもの貧困状態の解消や安心して子育てできる環境づくりに向け、見守り強化事業及び訪問支援事業を実施しました。また、子ども食堂等の支援団体などとの連携も進めました。</li> <li>・ 平塚・中郡地域で唯一、産科、小児科の二次救急を扱える病院として、産科・小児科の救急患者を受け入れました。</li> </ul>

## 施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・待機児童解消や保育の質を向上する対応が必要となります。また、各地区の放課後児童クラブのニーズに応じて、定員拡大を図る必要があります。
- ⇒民間保育所等の定員拡大を伴う施設整備や小規模修繕を支援するとともに、保育士確保や入所児童の保育環境の改善と地域間の均衡の保持を図るため、施設運営費等の助成を行います。また、放課後児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、既存クラブの分割などを進めます。
- ・地域のつながりが希薄となる中で、孤立感や不安感を抱える妊婦・子育て世帯も多く、妊娠や出産、子育ての不安を解消するための切れ目ない支援が必要となります。
- ⇒妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みの相談対応や、関係機関との連携により必要な支援につなげる相談体制の充実、育児に関する適正な情報提供、健診や各種教室、産後ケア事業等を実施します。さらに、妊娠・子育て家庭への伴走型相談支援と出産・子育て応援ギフトの給付の実施により、支援体制を拡充します。また、小児医療費助成を18歳まで拡大することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を更に推進するとともに、健康増進を図るための啓発を行います。
- ・子どもの貧困状態を解消するため、複合的課題への取組強化が必要となります。
- ⇒子ども食堂などの支援団体と連携し、こどもの見守りなど必要な支援につなげる体制を充実します。
- ・産科・小児科の二次救急は、採算性の確保が困難な部門であり、安定した病院経営を継続する必要があります。
- ⇒市民病院の病院経営を安定するため、医師の確保に努めるとともに、当院の役割・機能を明確化・最適化し、休日・夜間診療所や地域の医療機関との連携を強化します。